

ほくたん便り だよ

■編集／発行：北但行政事務組合
■組合構成市町：豊岡市・香美町・新温泉町



北但地域環境フォーラムを開催
みんなで考えた、ごみのこと 630人が参加!!

No.2 2006(平成18年) 12月発行

北但行政事務組合とは

広域ごみ・汚泥処理施設の設置及び維持管理並びに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して処理するため、豊岡市、香美町、新温泉町の北但1市2町で組織された一部事務組合です。

もくじ

- 環境フォーラム……………2
- 施設整備基本計画・検討委員会……………4
- 組合新議長あいさつ・議員紹介……………5
- 組合ニュース……………6

12月2日、豊岡市民会館文化ホールで北但地域環境フォーラムを開催しました。当日は北但1市2町から630人も多くの住民の皆さんが参加し、基調講演、パネルディスカッションに熱心に耳を傾けられ、ごみや環境、地球温暖化などの問題について真剣に考える機会となりました。



URL <http://www.hokutan.jp>

北但行政事務組合では、ホームページを開設し、これまでの取組みや協議内容などを公開しています。左記のURL（ホームページアドレス）をご覧ください。



「ほくたん便り」は、資源保護のため古紙100%の再生紙を使用し、環境に優しいソイ（大豆）インキで印刷しています。

第2部
パネル
ディスカッション

北但地域環境フォーラム

循環型社会形成に向けて活発な討論

本フォーラムは、循環型社会形成に向け、行政が地域の環境への更なる取り組みを図り、住民の皆さんがごみの適正処理等について考えていただく契機となることを目的に、組合と1市2町主催で開催したものです。

藤原香美町長の開会あいさつに続き、第1部では、環境省の由田廃棄物・リサイクル対策部長による基調講演、第2部では豊岡市、美方郡の住民代表者2名を交えてのパネルディスカッションを行いました。最後に、馬場新温泉町長の閉会あいさつで活発な討論が行なわれたフォーラムの幕を閉じました。

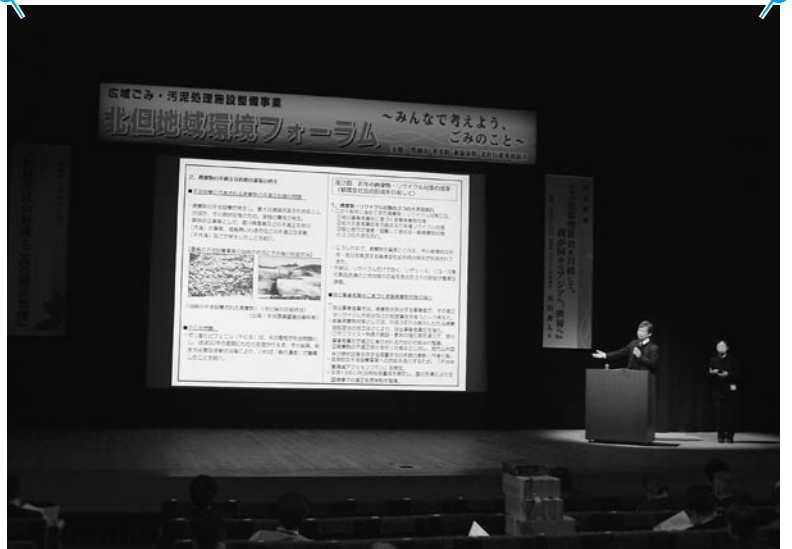


第1部
基調講演

●演題：『循環型社会を目指して、我が国からアジアへ、世界へ』

●講師：^{よしだ ひでと}由田 秀人 氏
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長

由田部長は香美町（旧村岡町）出身。講演は、国の廃棄物・環境行政を推進する立場から、日本及びアジア、世界を取り巻くごみ処理の現状と課題、それに伴う国が示すごみ減量施策や施設整備の方向、これからの将来展望等を豊富な経験と知識で分かりやすく講演していただきました。



講演要旨

- ・環境省の大きな柱は2つ。それは脱温暖化社会と循環型社会の形成。
- ・三位一体の改革により平成17年度から交付金制度を設け、市町村が地域単位で循環型社会形成を進めていく仕組みとした。
- ・ごみの排出量は経済のパロメーターと言われ、過去の日本と同様に、現在、経済成長期の中国や東南アジアはごみ問題が深刻化している。特に中国のごみは半分が適正に処理されていないと言われている。
- ・我が国は、産業廃棄物等のごみによる過去の不幸な経験があった。この経験を生かし、日本の取り組みをアジアや世界に情報発信し、国際的な循環型社会の構築を推進する必要がある。

行政、住民がこれから更にごみとどう向き合い、問題・課題を解決していくか。また、出てくるごみを法に基づき適正、適切に処理、処分を行うにはどのような施設整備が望まれるのか。そのために行政の立場、住民の視点から、討論、意見交換等を通じてこれからのごみに対する取り組みのあり方を様々な角度から考えていくパネルディスカッションとなりました。

●テーマ：『循環型社会形成とごみの適正処理』

(敬称略)

- ・コーディネーター：寺嶋 均
(社)全国都市清掃会議技術部担当部長
- ・パネリスト
 由田 秀人 環境省
 中貝 宗治 北但行政事務組合管理者(豊岡市長)
 川見 祐枝 (豊岡市出石町 川原ごみを減らす会
 会員、女性たちのまちづくり会議
 「夢ばれっと」代表等)
 山本初太郎 (美方郡香美町香住区 香住区保健衛
 生推進協議会会長、広域ごみ・汚泥
 処理施設整備方針検討委員等)



寺嶋コーディネーター

「日本は資源小国。廃棄物から有益な価値の高い資源を取り出して、循環型社会をつくる事が必要。
ごみの広域施設整備は、予定地に近い人だけに負担を負わせるのではなく、基本は地域全体としてごみ減量を一緒に考える姿勢が大事だと思います」



中貝管理者

「ごみは減らすことが大事ですが、ゼロにはできない。できなければちゃんとした施設を造らねばなりません。今地元の皆さんと突っ込んだ議論をし、厳しい意見も貰っています。自らのごみは自ら処理するのが自治の基本。ごみ問題は財政問題でもあります。是非理解を頂き、前に進めたいと思います」



川見さん

「住民一人ひとりがちよっと手を加えれば絶対ごみは減ります。でも継続は大変。無償ボランティアでは長続きしません。行政の支援を受ければ可能と思います。
畑のある方は、生ごみはコンポストを使い土に返してほしい。私達のごみ減量運動の輪が広がればいいと思います」



由田部長

「ヨーロッパでは元々乾燥しごみが多く、日本とごみ質が違い埋立が主流でしたが、逆にメタンガスが発生し山林が枯れてしまうこともありました。
日本は高温多湿で物が腐りやすい。そのため、昔から衛生的な観点から焼却をし、埋立処分量も少なくしてきました」

会場参加者からも貴重な意見をいただきました。

当日はパネルディスカッション終了後に、参加者の方から「市民に危機感を持ってもらうため、市の広報紙等に定期的に環境に関するコーナーを設けてほしい」との意見をいただきました。

また、会場で配布したアンケートにも100名を超す方からたくさんのご意見、感想等をいただいています。これらの貴重なご意見等を参考に、これからの環境行政、ごみ処理施設整備の推進等に役だてていきたいと思っています。



山本さん

「排出段階で分別することが資源化促進や処理コストの削減となり、ひいてはそれが私たち住民に還元されると思います。そのためには分別の癖を付けることが大切。
また、処理コスト意識や環境教育、住民・行政・事業者の三者連携による取り組みも必要と考えます」

施設整備基本計画

整備方針検討委員会を開催しています!!

組合では、平成25年度の稼働開始を目指し、広域ごみ・汚泥処理施設整備を進めており、施設の基本的な条件を定める「施設整備基本計画」を策定します。

策定にあたっては、住民の皆さんの意見を計画に反映させるため、整備方針検討委員会を設置し、活発な検討が行われています。

整備方針検討委員会は、学識経験者2人、一般公募

の市民・町民4人、環境衛生団体関係者5人、行政職員1人の計12人の委員で構成されています。

委員会では施設整備の基本方針、リサイクルセンターの啓発機能、公害防止、有機性廃棄物等の処理等に関して検討が行われ、来年1月を目途に検討結果が取りまとめられ、組合管理者へ報告されることとなります。

10月10日(火)、豊岡清掃センターで第1回整備方針検討委員会が開催されました。

委員会では正副委員長の選任が行われ、委員長に学識経験者で龍谷大学教授の占部武生さん、副委員長に(社)全国都市清掃会議技術部担当部長の寺嶋均さんが選任されました。

その後、広域ごみ・汚泥処理施設事業の経緯・概要、今後の委員会の進め方やスケ

●第1回委員会

10月10日(火)、豊岡清掃センターで第1回整備方針検討委員会が開催されました。

委員会では正副委員長の選任が行われ、委員長に学識経験者で龍谷大学教授の占部武生さん、副委員長に(社)全国都市清掃会議技術部担当部長の寺嶋均さんが選任されました。

その後、広域ごみ・汚泥処理施設事業の経緯・概要、今後の委員会の進め方やスケ

施設整備の目的

● 廃棄物処理施設として、構成市町で日々発生する廃棄物を適正に処理し、北但地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。

● 大量生産・大量消費社会から脱却し、廃棄物の5R(リフューズ、リデュース、リユース、リペアー、リサイクル)を総合的に推進します。

施設整備の基本方針

- ◆ 基本方針1…環境保全・公害防止対策に万全の措置を講じた施設とします。
- ◆ 基本方針2…ごみ・汚泥を確実・安全・安定的に処理できる施設とします。
- ◆ 基本方針3…廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設とします。
- ◆ 基本方針4…周辺環境と調和した施設とします。
- ◆ 基本方針5…住民から信頼される施設とします。
- ◆ 基本方針6…経済性に優れた施設とします。

●第2回委員会

施設整備に関する基本方針
10月24日(火)、日高農村環境改善センターで第2回委員会が開催されました。

委員会では「廃棄物処理の流れと現状」をテーマに占部委員長による講演が行われ、ごみ処理の歴史や最近のごみ処理技術について説明が行われました。

その後、施設整備に関する基本方針について検討が行われ、施設の主たる整備目的が整

●第3・4回委員会

有機性廃棄物等の処理方式
11月7日(火)及び11月28日(火)、日高農村環境改善センターで第3・4回委員会が開催されました。

委員会では、食品廃棄物や木くずなど動物や植物に関係する資源化可能な「有機性廃棄物等」について、次の5つの処理方式の比較検討が行われました。

- ① 焼却処理
- ② メタン発酵
- ③ 炭化
- ④ 飼料化
- ⑤ 堆肥化

整備方針検討委員会 委員名簿

(敬称略)

区分	氏名
龍谷大学教授	◎占部 武生
(社)全国都市清掃会議技術部担当部長	○寺嶋 均
市民・町民	小川 勝一 (豊岡市)
	大西 英剛 (香美町)
	湊崎 康雄 (豊岡市)
	嶋田富美代 (香美町)
環境衛生団体関係者	竹中みどり (豊岡市)
	吉田 勲 (豊岡市)
	水間 徳子 (香美町)
	山本初太郎 (香美町)
広域ごみ・汚泥処理施設整備関係市町課長会長	中道ちゑ子 (新温泉町)
	足田 仁司

◎委員長 ○副委員長



委員会開催状況

検討にあたっては、第2回委員会を示された6つの基本方針をもとに、項目が設定され検討が行われた結果、焼却処理が「確実・安全・安定的な処理」「資源化」「経済性」の点で他の処理方式よりも優れているとの結果が示されました。

ただし、単にごみを焼却処理するのでなく、更なるごみの資源化・減量化が必要であるとの委員会としての意見が

添えられています。

委員会は来年1月までに計7回程度開催される予定で、委員会については原則として公開されており傍聴が可能ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

なお、委員会の検討資料や記録、今後の日程等については組合ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

組合議員のご紹介（平成18年11月21日現在）

11月の豊岡市議会において、豊岡市議会選出の組合議会議員の改選がありました。また、組合議会では11月21日の臨時会で役員改選が行われました。

（敬称略）

議長	青山 憲司	（豊岡市議会）
副議長	柴田幸一郎	（香美町議会）
議員	稲垣のり子	（豊岡市議会）
	梅谷光太郎	（豊岡市議会）
	岡本 和雄	（新温泉町議会）
	岡谷 邦人	（豊岡市議会）
	門間 雄司	（豊岡市議会）
	小林 一義	（新温泉町議会）
	田中 要	（新温泉町議会）
	椿野 仁司	（豊岡市議会）
	浜上 勇人	（香美町議会）
	福田 嗣久	（豊岡市議会）
	古池 信幸	（豊岡市議会）
	升田 勝義	（豊岡市議会）
	宮脇 諭	（新温泉町議会）
	森井 幸子	（豊岡市議会）
	山本 賢司	（香美町議会）
吉田 範明	（香美町議会）	
綿貫 祥一	（豊岡市議会）	



北但行政事務 組合議会

議長
（豊岡市議会）

青山 憲司

議長就任あいさつ

11月の第61回北但行政事務組合議会において、議長に就任いたしました豊岡市議会の青山憲司でございます。もとより微力ではありますが、議

会の円滑な運営のため誠心誠意全力を傾注する所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

ごみに代表される環境の問題は、ごみ処理施設を有する一地域の問題ではなく、ごみを排出する私たちひとり一人が真剣に取り組まなければならぬ課題でございます。

現在、北但行政事務組合が抱えている広域ごみ・汚泥処理施設の整備は、建設適地としてお願いしている上郷区だけの問題として捉えるのではなく、ごみを排出する私たち関

係住民全体の課題であること、を全ての市民、町民の皆さんにご認識いただき、深く理解していただくことが最も重要なことではないでしょうか。

議会としては、全ての市民、町民の皆さんの立場に立つて、本事業が円滑に推進されるよう、議会の機能を存分に発揮してリサイクルの徹底による循環型社会の構築と併せてごみの排出抑制政策の実現に努めてまいる所存でございます。

何卒、皆様の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

組合ニュース

●生活環境影響調査の実施をお願いしています

本組合は施設の建設適地を平成16年6月に公表し、以来上郷区に対し説明会、先進地視察などを行い、施設整備にあたって必要な生活環境影響調査を今秋に実施させていただきました。しかし、現在まだ実施には至っていません。組合としては今後とも1日も早く調査と実施の理解、同意が得られるよう最善の努力を重ねていきます。

●モデルエリア構想を提示環境に配慮した村づくりを！

組合と豊岡市は施設建設適地である上郷区に対して、「上郷区環境創造モデルエリア構想」を提示し、9月29日に住民説明会を開催しました。

これは、次の目的やコンセプト等により行政側として考えられる構想案を取りまとめたものです。

なお、区内を3ブロックに分け2回目の説明会を11月27日、29日、12月1日に行いました。今後区の皆さんと協議を重ね、構想計画を練り上げていく予定です。

□目的

ごみ問題は環境問題の最後の部分です。そのため組合及び豊岡市は上郷区に施設を建設した場合、同区を環境モデルエリア(地区)と位置付け、環境に取り組み最も進んだ地域として整備したいと考えています。このたび行政側としての構想(たたき台)をまとめたので、さる9月4日に区へ提示しました。

□法に基づいた配慮

ごみ処理施設を建設する際には、廃棄物処理法により、施設の設置者は、周辺地域の生活環境の保全及び増進に配慮するよう定められています。

そのため、これまで上郷区に対し、施設整備にあわせ、生活環境を含む地域全体の環境を良くする環境創造モデルエ

リアを区住民と一緒に推進していきたいと提案してきました。

□コンセプト

(全体計画の考え方)

- ・先進的、先導的な環境創造による村づくりの推進
- ・自然豊かで安全・安心に暮らせる地域整備

上郷区と豊岡市及び組合が一体となって、自然、生活、農業等環境に関わる全般に対し、先進的・先導的に環境創造事業に取り組みことで、自然豊かで安全・安心に暮らせる地域づくりを進める19の事業を提示しました。

●地元説明会等の状況をお知らせします

平成18年4月以降の地元住民、区長会等に説明会、学習会、視察等を行っていますのでその状況をお知らせします。

(平成18年12月1日現在)

月日	内容
4月12日	上郷区懇談会
4月23日	上郷区老人会総会 事業説明
4月24日	国府地区区長会事業説明会
5月15日	中筋地区区長会事業説明会
7月26日	上郷区環境学習会 講師 金沢工業大学 露本伊佐男氏 「ごみ・汚泥処理施設と環境への影響」
7月31日	国府地区事業説明会・環境学習会 講師 NPO法人大阪ゴミを考える会 理事長 森住 明弘氏 「焼却施設と地域住民と環境問題」
8月27日	上郷区先進地視察 滋賀県栗東市環境センター
9月16日	中筋地区事業説明会・環境学習会 講師 露本氏
9月29日	上郷区環境創造モデルエリア構想 住民説明会
10月 8日	市谷区事業説明会・環境学習会 講師 露本氏
10月12日	中郷区事業説明会・環境学習会 講師 露本氏
11月 8日	市谷区住民説明会 ・講師 (社)全都清 寺嶋 均技術部担当部長
11月15日	市谷区先進地視察 クリーンセンターかしはら(奈良県橿原市)
11月27日	上郷区環境創造モデルエリア構想 住民説明会
11月29日	上郷区環境創造モデルエリア構想 住民説明会
11月30日	日高区長協議会役員会事業説明会
12月 1日	上郷区環境創造モデルエリア構想 住民説明会

内容	対象地区等	回数	内容	対象地区等	回数
説明会・学習会等	上郷区	7	先進地視察	上郷区	1
	国府地区	2		市谷区	1
	中筋地区	2		計	2
	中郷区	1			
	市谷区	2			
	旧日高町	1			
	計	15			

●組合議会を開会

- ・陳情不採択
- ・新議長選出

組合議会定例会が10月23日に、また同臨時会が11月21日に開会されました。

10月定例会の内容

事業内容等に関する一般質問と質疑が行われました。また、職員等の定年等に関する条例の一部改正等3件、平成17年度歳入歳出決算認定、周辺地区等住民から提出された施設建設に反対する陳情書3件について審議され、組合当局提出議案は原案通り可決、認定されました。

れました。なお、陳情書3件については、賛成少数で不採択となりました。

11月臨時会の内容

正副議長、監査委員の任期が申し合わせにより1年のため、役員改選が行われました。新しい議長に青山憲司議員(50)、副議長に柴田幸一郎議員(72)が選出されました。また、監査委員に岡谷邦人議員(58)が選任同意されました。なお、議会運営委員も新たに選任され、委員長に古池信幸議員(61)が選出されました。

※5ページに関連記事掲載